

**コンゴ(民)月例報告**  
**政治関連**  
**2018年3月**

**主な出来事**

- 2日、カリタス(カトリック系 NGO)は、1～2日にかけてイツリ州ジュグ地区で発生した、レンドゥ族とエマ族間の民族紛争により、少なくとも49名の遺体がみつかったと発表した(政府及び国連の発表は死者33名)。
- 12日夜から13日にかけて、イツリ数ジュグ地区の複数の村が襲撃され、41名が殺害された。
- 10日-12日の3日間、カトゥンビ元カタンガ州知事は南アのヨハネスブルグ郊外で集会を行い、12日には選挙に向けた新たなプラットフォーム「Ensemble pour le changement」の設立を発表した。
- 22日付 Jeune Afrique は、モイズ・カトゥンビ元カタンガ州知事が2000年10月3日から2017年1月13日まで、イタリア国籍を保有していたと報じた。
- 27日、MONSCO マンデート(安保理決議第2409号)が採択された。同マンデートの期限は2019年3月31日まで。
- 28日、クワンゴ州とマニエマ州で州知事・副州知事選挙が行われ、マニエマ州では独立候補のトゥンダ氏が州知事に選出された。クワンゴ州では31日に決選投票が行われ、こちらも独立候補のカニス・マコフィ氏が当選した。
- 30-31日、野党 UDPS はリメテの党本部で党大会を開催し、フェリックス・チセケディを、今年12月23日に行われる大統領選挙の党公認候補及び、2017年2月に死亡した故エチエンヌ・チセケディ党首の後任党首に選出した。

**1. 内政**

**(1) 平和的デモ行進に関する合同調査委員会報告書**

・10日、カトリック非聖職者調整委員会(CLC)が、昨年大晦日と今年1月21日に呼びかけた平和的デモ行進に関し、政府及び市民社会等による合同調査委員会は、死者数は、昨年大晦日が7名、今年1月21日が7名の、合計14名とする報告書を発表した(10日付 AFP)。

**(2) 通常国会の開幕**

・15日、通常国会が開幕し、午前には上院、午後には国民議会で開会式が催された。

**(3) 州知事・副州知事選挙(クワンゴ州、マニエマ州)**

・28日、クワンゴ州とマニエマ州で州知事・副州知事選挙が行われ、マニエマ州では大統領多数派(MP)候補を破り、独立候補のプロスペール・トゥンダ氏が州知事に選出された。クワンゴ州では過半数を獲得した候補者がでなかったため、31日に決選投票が行われ、独立候補のカニス・マコフィ氏が当選した。クワンゴ州は従来 PALU(統一ムンバ派)の本拠地であるが、大統領多数派(MP)とPALUの候補はどちらも、1回目の投票で敗北した。

**(4) 野党の動向**

**ア カトゥンビ元カタンガ州知事の動向**

・10日-12日の3日間、カトゥンビ元カタンガ州知事は南アのヨハネスブルグ郊外で集会を行い、12日には選挙に向けた新たなプラットフォーム「Ensemble pour le changement(変化への結集、

略称 Ensemble)」の設立を発表した。

・22日付 Jeune Afrique は、モイズ・カトゥンビ元カタンガ州知事が2000年10月3日から2017年1月13日まで、イタリア国籍を保有していたと報じた。これを受けて27日、カバンゲ共和国検事長は、カトゥンビ氏の国籍問題に関する予審をすでに開始したと発表した。

#### イ UDPS/MLC/UNC の党首会合

・15日、フェリックス・チセケディ UDPS 副幹事長、バザイバ MLC 幹事長及びプラットフォーム FRC (MLC を中心とするプラットフォーム)、カメレ UNC 党首及び UNC 同盟は会談を行い、2018年の選挙には参加するが、投票機器 (machine a voter) は拒否するとのコミュニケを3党首の連名で発表した。

#### ウ フェリックス・チセケディ UDPS 新党首の選出

・30-31日、UDPS はリメテの党本部で党大会を開催し、フェリックス・チセケディを、今年12月23日に行われる大統領選挙の党公認候補及び、2017年2月に死亡した故エチエンヌ・チセケディ党首の後任党首に選出した。

#### (5) 独立国家選挙委員会 (CENI) の動向

・28日、政府は CENI に22百万ドルを支出した。

## 2. 東部及び大湖地域情勢

### (1) イツリ州の情勢

・2日、カトリック系 NGO のカリタスは、1～2日にかけてイツリ州ジュグ地区 (Djugu) マゼ村 (イツリ州の州都ブニャから北に約80キロ) で発生した、レンドウ族 (Lendu、農耕民族) とエマ族 (Hema、牧畜民族) 間の民族紛争により、少なくとも49名の遺体がみつかったと発表した (政府及び国連の発表は死者33名)。証言によると、今回の攻撃は2回にわたっており、レンドウ族がエマ族を襲撃した。1回目の攻撃は1日の午後に行われ、コンゴ (民) 国軍 (FARDC) によって押し返され、その際にレンドウ族の精神的指導者のひとりが殺害された。2時間半後には大勢の攻撃者が集結し、マゼ村とムブンジャ村を同時襲撃した (2日付 AFP)。

・12日夜から13日にかけて、ジュグ地区バエマ=ノールとワレンドウ=タチ区域の複数の村が襲撃され、41名が殺害された (バエマ=ノール区域39名、ワレンドウ=タチ区域2名)。

### (2) ADF (民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力) の動向

・3日、ADF は、北キブ州ベニ地区のルナ (Luna)-エリンゲティ (Eringeti) 村を襲撃し、7名を銃や鉞で殺害した (4日付 AFP)。

・9日、コンゴ (民) 国軍 (FARDC) は、同日朝にベニ地区モポブ (Mopobu) 村で、ADF 民兵3名を殺害したと発表した。また FARDC はその前日、同地区エリンゲティ村の近くで、マイマイ (自警団的な性格をもった武装集団) の基地を破壊し、2名のマイマイ民兵を殺害し、3名を捕らえた (9日付 AFP)。

・28日、ハズカイ FARDC 報道官は、27日夜、ADF がベニ市周辺の FARDC 陣地を襲撃し、市民10名が殺害されたと発表した。ADF 側にも1名の死者が発生した (28日付 AFP)。

### (3) ブルンジ人難民の南キブ州からルワンダへの護送

・7日、MONUSCO は、2579名のブルンジ人難民を、南キブ州カマニョラからルワンダ側のブガラマ まで護送したと伝えた。昨年9月、カマニョラ難民収容所では、ブルンジへの送還を恐れた難民とコンゴ (民) 当局との間で衝突が発生し、36名のブルンジ人難民が殺害されていた (7日付 AFP)。

### **3. その他地域情勢**

#### **(1)南ウバング州でキリスト教徒とイスラム教徒の紛争が発生**

・29-30日南ウバング州ブジャラ(Budjala)で、イスラム教徒(少数派)の妻をめぐる争いからキリスト教徒(多数派)との間で抗争が発生し、キリスト教徒の男性が死亡した。地元の市民社会代表は、同地域での宗派間紛争の発生を危惧している(30日付 AFP)。

### **4. その他**

#### **(1)MONUSCO 新マンデートの採択**

・27日、MONUSCO マンデート(安保理決議第2409号)が採択された。同マンデートの期限は2019年3月31日まで。